

平成27年10月15日発行

RIKKO SEKAI No.1068 力行世界 平成27年10月15日発行 (1)

2015年
10月号

年4回発行(1. 4. 7. 10月号)

No.1068

(学法) 日本力行会

力行世界

R I K K O S E K A I



創立1897年1月1日



目次

交流サロン

WelcomeParty&

お月見とおにぎり作り …… 2・3

力行会館の一年間 …… 4・5

りっこう幼稚園だより …… 6・7

納涼会・お泊まり・敬老会・お月見

元会館生インタビュー …… 8・9

ジャパンハウス 運営委員が初会合… 10

「学校法人 日本力行会」と

「一般財団法人 日本力行海外協会」

との初面談会を開催 …… 11

演奏会 …… 11

感謝状・力行祭ご案内・

事務局だより …… 12

力 行 交 流 サ ロ ン

Welcome Party & お月見とおにぎり作り



秋の夜長、虫の音が心地よい季節となりました。力行会館にも、9月から新しい会館生が入って来ましたので、毎年、恒例の「お月見とおにぎり作り」をWelcome Partyとして、シルバーウィーク初日の9月19日（土）に開催致しました。

当日は、会館生26名、友人のブラジル人留学生5名、交流サロンスタッフ4名、職員3名の総勢38名が参加し、大変、賑やかで、楽しいサロンとなりました。

集合時間に合わせ、食堂で、事前に道具を用意していた所、早くも率先し、駆けつけてくれたブラジル人女子学生がお手伝いに参上、代表者にふさわしい気遣いは、流石と頭が下がりました。

その後、ブルネイ人男子学生も、談話室の会場作りを率先して、お手伝いしてくれたり、中国人女子学生や、ブルネイ人女子学生、アメリカ人、ブラジル人と、大勢が早くからお手伝いに来てくれました。

前回の交流サロン「Welcome

Curry Party」から使い始めたガス炊飯器で、当会の理事を務められているスタッフから寄贈の50合のお米を、一気に炊き上げましたが、量が多かった為か、少し芯が残ると言う事で、再度、炊飯した所、大変、美味しいご飯が炊き上げて、ホッとした所、時計を見ると、開始時間から既に30分程、オーバーしておりました。3名欠席者がいたものの、参加者全員揃って、おにぎりの具の準備やら、早くも歓談している様で、一安心。





全員、エプロンに名前を書いたシールを付けスタンバイ、配った紙皿に付けた色シールと、色のテーブルに分かれて貰った所、会館生同士、すぐに打ち解け、仲良くなっている様子は、大変、微笑ましく思いました。スタッフ発案の色分けアイディアは大成功、貴重なご意見を有難うございました。

5組に分かれた各テーブルに、スタッフも分かれ参加、おにぎりの握り方を教えて頂きながら、一緒に楽しく、各自、好きな具を選んで握りました。意外にも人気だった海苔が足りなかった事、次回に活かしたいと思いました。

全員握り終えた所で、食堂から談話室に移動、談話室のテーブルも色分けし、紙皿と同じテーブルに移動して貰いました。

まずは、スタッフの自己紹介、お昼もまわり、お腹がすいてしまったので、女子会館生とスタッフの合作である、

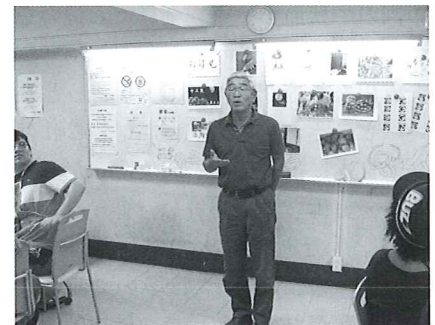
豆腐とネギのお味噌汁と一緒に試食、自分で握ったおにぎりを皆、大変、美味しそうに食べていました。

食堂でのおにぎり作りから、すっかり打ち解けた会館生達、皆の公用語は英語、自分も英語力を磨かなければと反省するばかり。大方、食べ終わった所で、お月見のお話を、中国人の女子会館生より、ホワイトボードに絵を描きながら、英語でその伝説を説明してくれました。その後、職員より簡単に、十五夜と十三夜とお月見飾りの説明をしました。

「花より団子」の、お楽しみのお団子も配り、試食。餡子は粒あんを各テーブルに用意、各自、トッピングして貰った所、好評でした。

アンケートを書いて貰い、お月見飾りを前に写真撮影、最後は、ほぼ全員が片付けを手伝ってくれました。

今回の交流サロンが盛会となりました。



た事、新しく入った会館生達が仲良く楽しく交流出来た事、スタッフの皆様、参加、協力してくれた会館生達にお礼をお伝えし、次回の交流サロンに繋げて行きたいと存じます。



力行会館の一年間

力行会館 会館生代表委員リーダー
于 歌 (中国)

ずっと両親のそばにいた私はもう日本で一年生活してきた。今、思い出し、一年前の私は非常な不安を持ち、両親のそばから離れた。2014年9月8日、中国の中秋節で、家族全員でお祝いをするべきなのに、私は離れた。

成田空港を出てから、「ちょっと狭いけど、きれいな街ですね。」これは私が日本に持つ最初の印象だった。そして、力行会館に到着し、管理人たちと留学生たちは迎えてくれ、荷物を持ってくれ、「外国人は多いですね。」これは私が力行会館に持つ最初の印象だった。もともとお喋りなので、周りの留学生たちとすぐ友達になった。



友達是我的バイトのところに食べに来た。



マレーシアの友達の誕生日だった。みんなはサプライズをしてあげたいために、わざわざその子に黙って、そして、ケーキをもって、その子の前に突然現れた。本人はすごく喜び、泣いた。



たまに、みんなと約束して、力行会館で一緒にご飯を作って、一緒に食べる。



もちろん、外でもよく食べに行った。



送別会、みんな最後一緒に食べた。



朝5時、友達が会館を離れる前に、最後は一緒に写真を撮った。

ブラジル、アメリカ、フランス、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ブルネイ、ドイツ、韓国、スリランカ、ベトナム、イギリス、ほんとにたくさんの友達を作った。もし、海外へ旅行すると、どこの国でも、面倒を見てもらえそうで、よかった！ははは。。。。もちろん、友達を作るだけではなく、自分もいろいろ勉強になった。

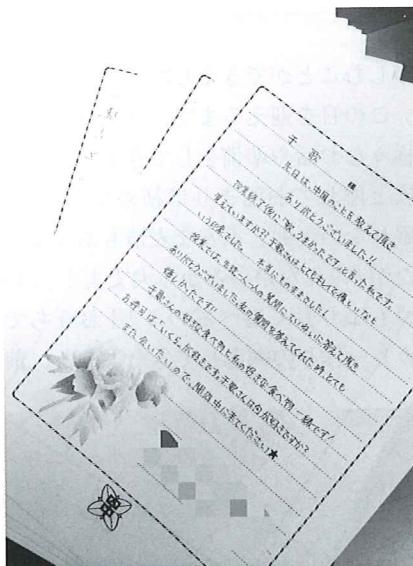
力行会館での一年間、自分が成長したことをよく感じる。人と人の国籍は違うが、心はつながると思う。笑顔で、



私は一番嫌いなのは8月と3月だ。なぜなら、友達がいっぱい会館を離れる。しかし、古い友達は離れても、すぐに新しい友達がどんどん来る、それはいいことだと思った。



心で交流すると、必ずお互いに理解することができる。学生たちに授業をやり、幼稚園の子供たちに読み聞かせをし、自分の文章が載せられ、自分の写真が載せられ、代表者としてみんなを手伝い、みんなを通訳し、非常に嬉しかった。これからも自分の価値を見つけていきたい。ちょっと残念なのは私がいつも忙しいので、活動にもっと参加したい事が実現できないことだと思う。これからも、力行会館でもっと頑張りたいと思う。頑張りが、もっと、成長していきたい。



中学生たちに授業をやり、中国について、学生たちに紹介した。みんなに教えながら、自分は自分の国について、もっと深く理解できた。学生たちが書いてくれた手紙、私はたいへん感動しており、本当にあの子たちに「ありがとうございます！」と言いたい。



図書館での読み聞かせ。幼稚園の子供たちは本当に可愛い。私は可愛い質問され、すごく嬉しかった。



学校法人 **りっこう幼稚園だより****納涼会**

もも2組担任 新郷 茜

7月10日、前日まで続いた雨や曇りの天気も一転、夏らしいお天気に恵まれ、幼稚園では納涼会を行ないました。年少ももぐみは手型スタンプでかのに模様、年中すみれぐみはタンポを使ってあさがおの模様、年長ゆりぐみは染め紙で模様をつけ、学年ごとにうちわ盆踊りの練習に取り組んで、この日を楽しみに待っていた子ども達。

夕方、登園すると、暗くなりはじめた空にちょうちんの明かりが灯っている園庭、浴衣や甚平を着ているお友達や先生に会い、はしゃいだり、目を輝かせたり、いつもと違う雰囲気を味わっている様子でした。

そして、メインは3学年全員で踊る盆踊り。アンパンマン音頭、ちびまる子ちゃん音頭、ドラえもん音頭、クレ

ヨンしんちゃん音頭の4曲を踊りました。「先生、楽しいね!」と初めての納涼会となったももぐみの子ども達もすみれぐみやゆりぐみのお兄さんお姉さんと踊りを楽しみました。最後はアンコールでお家の方も一緒にアンパンマン音頭を踊り、盛りあがりました。

会のしめくくりは打ち上げ花火。パ

ン!と花火が光ると「わあーきれいだね。」「赤だった!」など、会話が聞こえてきたり、中にはその迫力に、じっとながめ続ける姿も見られました。

みんなで過ごした夏の夜のひととき。楽しい思い出として子ども達の心にきざまれていることを願っています。

**お泊まり保育**

ゆり2組担任 山路 愛里

7月15、16日にゆり組のお泊まり保育を行いました。雨続きの予報のため急きょ1日早めての実施となりましたがそのおかげで思う存分屋外の活動も

楽しむことができました。

この日を迎えるまで、各クラスでは様々なお話や準備をしてきました。「家族と離れてお泊まりは初めて…」「夜眠れないかも」不安な表情もありましたが「みんながいるから大丈夫!」「いつもより長く遊べるの?」「おうちでカレー作りの練習してきたよ」と、前

向きな言葉が増え、「こんなお部屋に泊まりたい」というみんなの思いが詰まった装飾も出来上がりました。

そして当日、礼拝をしカレー作りから始まりました。ゆり組貸し切りの園庭とプールで遊んだ後はお風呂に入り、お待ちかねの夕食です。何度もおかわりをする姿がありました。夜のお楽しみのキャンプファイヤーでは、燃え上がる火に目を輝かせ、電気ではなく火の明かりで踊りや歌を楽しみました。

ぐっすりと眠って迎えた2日目の朝は目覚めるとそこはいつも遊んでいる部屋、隣にはお友だちという状況に自然と笑顔になっていました。朝ごはんのおにぎりは一段とおいしく感じ、降園まで笑顔で過ごすことができました。お泊まり保育を通してクラスや学年の絆が深まり、自信にもつながりました。たくさんの人に支えられ、見守られ、またひとつ成長することができた2日間となりました。



敬老会

すみれ2組担任 根橋 由衣

9月9日、幼稚園では子どもたちのおじいさん、おばあさんを招待し、毎年恒例の敬老会を行いました。子どもたちは「今日ぼくのばあばが来てくれるんだよ!」「じいじがくるの、なんだか緊張しちゃうな…」と楽しみやはずかしさ、普段とは何か違うワクワク感をもって登園してくる様子がありました。そして、台風の影響による大

雨にもかかわらず、247名（祖父母）の方が来てくださいました。チャペルの全体会で園長先生の話聞いた後、各クラスの活動に参加して頂きました。当日来られなかった方もいましたが、クラスみんなのおじいさんおばあさんとして一緒にお歌や手あそび、自己紹介など楽しく過ごしました。いつもは先生に読んでもらっている絵本もこの日はおじいさん、おばあさんに読み聞かせをしてもらいました。子どもたちも絵本の世界に引き込まれるように入り込み、夢中になって見ている姿

が見られました。そして最後は子どもたちの楽しみにしていたおやつ、ゼリーをおじいさん、おばあさんの隣やおひざの上で色々な話をしながらおいしく頂きました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、お帰りの時はおばあちゃんと離れるのが嫌で泣いてしまう子も居るくらい、とても和やかで温かい雰囲気で包まれていました。これからもたくさんの方に見守られていること、大切にされていることに感謝し、心も体もすくすく大きくなるよう願っています。



お月見おだんご作り

もも組 前嶋 千佳子

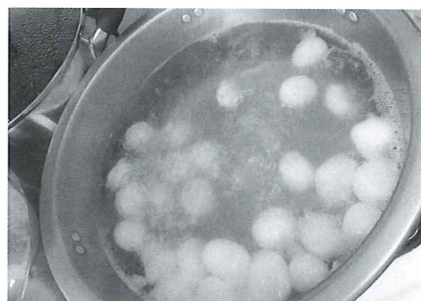
9月25日お月見の日、朝から職員室前にはすすきとおだんごが供えられました。「きょうはおだんご作り!」とはりきって登園してきた子ども達。いつもとは雰囲気が違う職員室前の飾りにさらに胸をはずませ、登園してきたことと思います。

いざおだんご作りです。おだんごになる前の白玉粉のざらざらした感触、においを一人ひとり感じ、その後担任が少しずつ水を加えてこねていく様子を食い入るように見つめていました。子ども達の小さな手の中で、ころころ丸められていくおだんご。トレーに丸まったおだんごが並べられていくと、「これぼくの!!」「まごっちゃうと分からなくなっちゃう!」と自分のおだんごに想いがいっぱいいつまっていることが伺えました。全員で職員室の先生に「ゆでてもらおうこと」お願いします!!」

と届けた後、「おだんごまだかな…」「もうできたかな」とお弁当の用意をしながら、保育室のドアをみつめ、おだんごの到着を今か今かと待ちきれない様子でした。「おいしい!」「やわらかい」「おかわり!!」自分で作ったおだんごの味は格別だったようです。

その日の天気は生憎の雨。「今夜お月様みえるかなあ」「雨だからみえないかもしれないね…」と、担任と子ども達が話していると、ある男の子が「みえなかったら、夢でみればいいんじゃない!?」と一言。「そうだね!夢でみれるといいね」と笑顔がたくさん並び、保育室が温かい空気に包まれた瞬間でした。さて、その夜、子ども達は夢の中でお月様に会えたでしょうか。きっと会えたことと思います。

子ども達が帰っ



た後、一日飾ってあった職員室前のおだんごですが、子ども達の指でつまんだ跡がたくさんあったことは言うまでもありません。(笑)



「元会館生インタビュー」

クロイヒヴィーク ズザンネ ダニエラ (通称:ズージー)

平成25年4月15日発行の「力行世界」掲載から、約2年半ぶりのインタビューを、一時来日した平成26年夏より、今夏、再来日したズージーさんにお願いしました。

今回は、会館生の小林佳朗さんにも、ご協力をお願いし、事務所職員の山本、西山、増田で、一時間程、座談会をさせて頂きました。

活動的でハンディを感じさせないバイタリティー、その変わらないその姿に皆、勇気とパワーを頂く事が出来ました。

Q1. 今回の一週間の来日目的について

A1. 一番大事な目的は、来年の4月から筑波技術大学大学院で情報処理を勉強し、視覚障害者の高校教諭の資格を取得するため、その準備の為に、教授に会いに来た事です。勿論、友達と会う為、遊びに来た事もあります。

Q2. 小中学生の頃に、将来の自分の姿をどの様に想像していましたか？又は、日本に来る事を考えていましたか？

A2. 16歳の時に、ベルリンの壁がなくなったのですが、子供の頃は、壁が一番大事で、守られていると考えていました。又、壁があったので、国外に出られる事は、全く考えていませんでした。

Q3. ドイツから、アルファベット圏の国の方が留学しやすいと思うのに、何故、漢字圏の遠い日本に留学しようと思ったのですか？

A3. プロセスからです。元々、言語に興味があったのですが、世界中で話されている英語よりも、盲学校時代の友達が90年代に勉強していた日本語に興味を持ちました。その友達から日本語を教わり、面白いかと思った事、又、先に東京に来ていた時に、誘われ、来る機会があり、色々と経験させて貰い、勉強しようと思った事。その頃は、まだ、音楽を勉強出来なかった事もあって、2001年に、ベルリン大学の日本語学科に進学しました。

日本語は、アイウエオから学び、点字も学びました。点字は、東京点字図書館の館長夫妻から教えて貰いました。他の人は聞いただけでも勉強出来ると思いますが、自分の場合は、読み書きしないと覚えられません。

それから、2004年、慶応大学に入り、コンピューターを使い、漢字の構成、使い方とかも覚えました。

Q4. 日本語はどんな所が面白かったですか？

A4. 日本語の持つ音、日本語は、ドイツ人にとっては、とても特別な言語なので勉強しようと思いました。

Q5. 音楽について、歌を勉強していた事について教えてください。

A5. 筑波技術大学で、情報を4年勉強しました。卒業後に音楽、声楽を学びました。

Q6. 情報処理について、今まで学んだ事について教えてください。



A6. 情報処理科で、コンピューター環境、プログラミング、ソフトを作ったり、使ったりする事を勉強していました。

Q7. 前回のインタビューの時に、iphoneやipadの登場で、生活上の障害が大幅に軽減されたという事は、具体的にどのような事ですか。

A7. iphoneには、アップルが得意とする、ボイスオーバーという機能が付いていて、視覚障害者でもすぐ使える様になっている事です。言語の切り替えも出来ます。

Q8. ボイスオーバーの機能は、視覚障害の方にとって、ソフト開発に改善策を提案出来ると思いますが、何か考えている事はありますか。

A8. 音楽家にとっても、視覚障害者用の楽譜プログラムを作りたいです。

面白いアプリがあってもボイスオーバーに変換できるようにして、視覚障害者でも使える様にしたい。点字ディスプレイで入力して、見えている人にも読める五線譜の楽譜を読める様なプログラムが作れたらいいなと思います。

Q 9. 視覚障害者で、音楽を学んでいる人は沢山いると思いますが、音楽の分野で、特に優れている友達はいますか？

A 9. 自分の廻りにも沢山いますが、視覚障害者はあまりサポートされていません。実力があるのに、視覚障害者へのサポートが健常者に比べると小さい事は、残念に思っています。

Q10. 普段は、ロック音楽が好きで、コンサートも行くという事ですが、そのミュージシャンの名前を教えてください。自分でクラシック音楽以外のロックミュージックなども学んだ事がありますか？

A10. ドイツのロックバンドで、PUHDYS(プーディース)といえます。クラシックを学ぶ前、1998年～2001年

まで3年間、ポップスも学んでいました。実はクラシックよりも好きですが、クラシックの基本を先に学んでいた方が発声の為にも、とても良かったと思います。

Q11. 楽器は何かやっていましたか？

A11. 数年前から、リコーダーを専門に学んでいて、篠笛も一年勉強しました。音が出るのに3か月もかかりました。(ブラジルの会館生で尺八を学んでいる人がいる事から)尺八はもっと難しいと思います。筑波技術の先生は2年前からやっているのに、中々音が出ないと言っています。尺八にも興味があります。

Q12. 日本に遊びに来た事について、何か具体的にありますか？

A12. 一年ぶりに友達に会うので、沢山おしゃべりがしたい。今回はあまり時間がないので、今度来日した時は、江ノ島水族館に行きたい。イルカやクジラが大好きです。泳いだりするのも好きです。冷たい水に入るのは苦手なので、ダイビングはした事がないけれど、興味はあります。日本の海にも入っ

たことがないので、今度、機会があれば入ってみたい。ドイツでは、真夏に湖に入ったりしています。

Q13. iphoneやipadはどんな使い方をしていますか？

A13. FacebookやFaceTime、スカイプ、メール、メッセージなど、何でも使っています。

Q14. 文字の打ち込みは、どのようにしていますか？

A14. 普通にキーボードに打っています。ボイスオーバーで読み上げてくれるので便利です。ブルートースはちょっと面倒なので、タッチパッドとキーボードが同時に使えるMAC製品が大好き、今は、ウルトラマックブックが欲しい。

沢山の質問に、快くお答え下さったズーギーさん、彼女のその明るく前向きな姿に、冗談好きで、皆を楽しませてくれるその笑顔に、感謝し、今後の活躍を応援して行きたいと思います。又、会館で会える事を楽しみにしております。ありがとうございます、ズーギーさん。



ジャパン ハウス 運営委員が初会合

ジーコ、元大臣ら9人 16年度開設に向け議論

日本政府が2016年度内の開設を目指す広報文化施設「ジャパン・ハウス（仮称、以下JH）」の第1回運営委員会が22日午後、在聖総領事公邸で行なわれた。委員はサッカー元日本代表監督のジーコ氏ら9人。会合に出席した外務大臣政務官の蘭浦健太郎衆議院議員は、「日系社会と連携したブラジルならではの施設にしたい」などと狙いを語った。

県人会との連携も浮上？

運営委員は以下9人。青木智栄子（ブルーツリーホテルズ社長）、カイオ・ルイス・デ・カルヴァーリョ（テレビ局バンジアルテ1社長／元観光大臣）、呉屋春美（文協会長）、村田俊典（伯日商工会議所会頭）、ジョアン・グランディーノ・ローダス（元サンパウロ

州総合大学長）、ロベルト・ロドリゲス（元農務大臣）、渡部和夫（元聖州高裁判事）、ジーコ（サッカー元日本代表監督、当日欠席）、中前隆博（在聖総領事）各氏。

在聖総領事館が人選、委員長は中前総領事が務め、年4回開催する。今年1月、現地視察に訪れた蘭浦政務官が日本政府を代表し委嘱状を手渡した。報道陣に公開された会冒頭には、「日伯双方の需要をマッチングさせる運営委員会はJHの生命線。何をすれば人が集まるか話し合っていきたい」とあいさつ。委員会の重要性を説明した。

会合を終え同政務官が取材に応じ、「プロジェクト始動に立ち会えたことを嬉しく思う。そうそうたるメンバーから様々な意見頂いた」と所感を述べた。『日本の歴史や最先端技術を紹介してほしい』などの意見が挙がったら

しく、「16年度内の開設に全力を尽くす」と話した。

開設地については「いくつか候補地がある。現地と相談、審査を経て良い物件を決めていく」。予算規模は英ロンドン、米ロサンゼルス3館合わせ36億円（コンテンツ含む）とした。

さらに「ブラジルではもちろん、日系社会との連携が重要」と強調。日本で取り組む地方創生を引き合いに、「例えば各県の代表団が訪伯し、JHで物産展を開催するなど、県人会や日系団体と連携しイベントを開催して頂きたい。県の売り込みになり、ブラジル側にとっても出身県関係者と交流機会を密にできる」などと具体案を示した。

4日付け官報では、サンパウロの事業主は広告代理店の電通に決まったと発表、正式契約に向けた手続き中とのこと。

「力行世界」へのご投稿を募集しています

応募要領

※字数の制限はありません。

※締切日はありません。

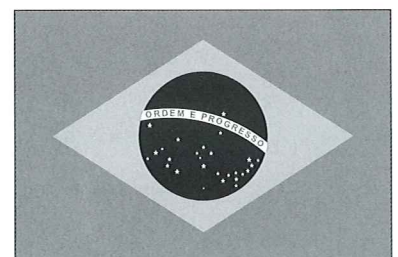
※掲載については当方に、お任せ下さい。

◎お送り先及びご不明な点は

（学法）日本力行会 事務局 迄

FAX 03-3972-1264

E-MAIL : rikko@rikkokai.or.jp



「学校法人 日本力行会」と
「一般財団法人 日本力行海外協会」との
初面談会を開催

炎暑の続く平成27年8月30日（日）午後12時30分より14時50分まで予定時間も越える、力行会と海外協会による、初の面談会が、練馬区桜台・環七蔭の中華料理店“茶平”で開催された。

力行会側からは村上悦榮理事長、小泉知定理事（前代表理事）と幸協一英理事兼事務局長の3人が、海外協会側から久保田怜男理事長（元本会副理事長）、村田寛常務理事（東京上田会顧問、力行会初対面）と斎藤國臣理事（元本会評議員）の3人、総勢6名で膝を合わせての話し合いとなり、より良い相互関係と互の発展策を模索する会となった。

両組織の歴史に通じている小泉理事に敬意を払って、小泉理事の歴史や問題点の明示で始まり、村上理事長のご挨拶、答礼としての久保田理事長から

のご挨拶と進み、海外で活躍される日本力行会会員含めての活動や認識にあって、今後のより良い相互発展関係の再構築のための話し合いを継続したい旨と面談会の位置付けを、今回の提案者である久保田理事長が、表明し、和やかなノンアルコール飲料での情報交換、でお開きとなった。

《両団体の経緯》

昭和31年、日本国の移民事業の整備
一本化という政府施策に即応して、当
会（本年度創設118年）は財団法人 日
本力行海外協会を設立し、海外移民の
事業を海外協会に移した（日本力行会



百年の航跡)。

全国の公益財団法人制度の点検・変更にともない、平成26年4月より当会是一般財団法人に移行、解散と同時に、法人新設の認可を受領して昨年12月より学校法人として、財団法人 日本力行海外協会は4月より一般財団法人として新たなスタートを切り本日までに至っている。 以上

—演奏会「MUSICA AO VIVO DUO A TEMPO」に招待されて—

去る、9月6日(日)、小竹向原駅の2番出口前にある音楽喫茶店で、メディアでも活躍されておられる、気象予報士の森 朗 氏と、会館生の淵上ラファエル 広志 君との演奏会が催されました。

ブラジルから尺八の勉強の為に来日したフルート奏者の潤上君と、ブラジル音楽に魅了され、7弦ギターの演奏を始めた気象予報士の森氏との異色デュオの演奏会は、尺八の古典本曲から、ブラジルのショーロ、ボサノヴァ

まで、多岐に亘り、大変、素晴らしく、
気象予報士の森氏の司会も、とても楽
しく、充実した時間を満喫する事が出
来ました。

今回の招待に感謝し、今後のお二方の活躍を、楽しみにしております。

[illegible]

幼稚園職場体験感謝状

拝啓

日に日に暑い日が多くなってきました。

皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

先日はお忙しい中、私たちの職場体験のために二日間もお時間を割いてくださりありがとうございました。

二日間の体験の中で、印象に残ったことは、先生たちは、ずっと働いているということです。部屋の中でも、外でも、ずっと子供達と遊んでいてすごいと思いました。私は、この体験で、子供達との接し方や遊び方などよくわかりました。

私は、将来幼稚園の先生になりたいと、考えているので、先生になったらこの体験を生かしていきたいと思いました。

二日間、大変お世話になりました。お体に気をつけ、これからもますますご活躍ください。

敬具

開進第四中学校

りっこう幼稚園の皆さま

拝啓

暑さが日に日に厳しくなってきました。

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

先日は、お忙しいところ、私たちの職場体験のためにお時間をいただき、誠にありがとうございました。

二日間の学習の中で、特に印象に残ったことは、園児がいる間に休けいをしなかったことです。幼稚園では休み時間というものがないので、外遊びの時も一緒に遊んだり、危険なことをしないように見ていてとても驚きました。これからは、幼稚園で経験したことをこれからのことに生かしていきたいです。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

敬具

開進第四中学校

りっこう幼稚園の皆様

日本力行会機関紙「力行世界」
定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 春風駘蕩の候 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立118年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生会館・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。敬具

平成27年10月15日発行
年4回発行(1・4・7・10月号)
発行

(学法)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp

ホームページ

http://www.rikkokai.or.jp

11月7日(土)

第83回力行祭開催のご案内

記念式典 午前10時～11時

◆会場◆ 国際ホール(国際館・地下)

第一部・記念礼拝

第二部・BURNER Jr. チアリーディング演技

(力行幼稚園在園児及び卒園児)

国際交流広場 午前10時～午後2時

◆会場◆ 園庭

海外留学生によるお国自慢料理の模擬店

力行祭バザー 午前10時～午後2時

◆会場◆ 園舎内及び園庭

園児の保護者による手作り品及び楽しいゲーム

味自慢の手料理

皆様の参加を心よりお待ちしております！